

旅する本箱



信州のあちこちを旅しながら
本と人、人と人をつなぎます

『旅する本箱』は県立長野図書館と
Learn by Creation NAGANOの協働プロジェクトです

『旅する本箱』のしくみ

『旅する本箱』は信州中を移動していくミニ図書館です。
さまざまなテーマで選んだ本を詰め込んだ本箱が、
一定期間ごとに旅先を巡ります。ぜひお気軽に
新しい本との出会いを楽しんでください！

本箱のテーマ



懐かしい未来



もし1週間
休みがあったら



今日何食べよう



あなたも
行きたくなる



森と泉の国
からの贈りもの



世界の秘密を
冒険しよう



運命を変えた
一冊



自分らしく
生きる



からだが
よろこぶ時間



テーマごとの
本箱が旅先を
順番に巡って
いきます

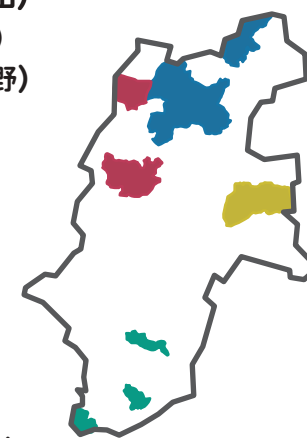
本箱の旅先

飯山赤十字病院（飯山）
SUN APPLE（長野）
県立長野図書館（長野）

Re:Public（白馬）
有明高原寮（安曇野）

JR 中込駅（佐久）

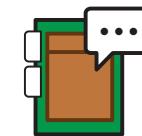
フルマチ邸（松川）
シラネバ（根羽）
グリーンウッド（泰阜）



2025年時点

『旅する本箱』のつかいかた

旅する本について



本には選んだ人のメッセージや
読んだ人の感想など旅をしてきた
しるしがついています。ぜひ探して
みてくださいね！



どこで読めるの？



本箱の本は建物内で自由に読んで
もらって大丈夫です。「旅先」に
よっては借りることも可能です！

旅のしるしを残そう！



本の感想やコメントを
ふせんやノートに書いて
本に旅のしるしを増やしてください！



次の旅先であなたの
メッセージが
誰かに届きますように！

『旅する本箱』に参加しよう

『旅する本箱』で、本を通じた人との素敵な出会いを
一緒に体験してみませんか？

本を旅させよう！

あなたが誰かに勧めたい、とっておきの本は何ですか？
その本を『旅する本箱』と一緒に旅させてみませんか？

詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください▶

「旅する本箱」
公式ウェブサイト



イベントに参加しよう！

「旅する本箱」では、本箱のテーマを考えたり、
本のカバー（装備）のワークショップを行うなど、
さまざまなイベントを不定期で開催しています！

公式Facebookで最新情報をご確認ください▶

「旅する本箱」
公式Facebook



お問合せは「県立長野図書館 総務企画課 企画係」まで
電話：026-228-4939 メール：ken-tosho@library.pref.nagano.jp
ウェブ：https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/now/tabihon/index.html
「旅する本箱」運営：県立長野図書館 / Learn by Creation NAGANO 実行委員会

最後に、選んだ人たちのメッセージも本に残して
本箱に詰め込み、信州中の旅先へと送り出しました。

こうして本が旅をする様に、信州中の旅先を巡る
『旅する本箱』がスタートしました。

『旅する本箱』は、県立長野図書館と
Learn by Creation NAGANOの協働によるプロジェクトです。
本との新しい出会い、本を介して、
時間と空間を越えた新しい人と人との出会いが
生まれることを願っています。



そ二から本の旅支度が始まりました。

まずは、本好きのみんなと本箱ごとのテーマを考え、
そのテーマに沿った選りすぐりの本を選びました。

そして本箱を置いてくれる旅先を募り、
信州各地の女々の旅先が最初に決まりました。

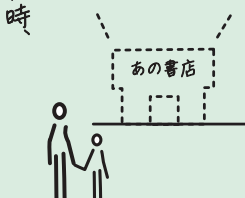
・本は一つの場所に留まらずにいろいろな場所を巡ること
・本箱ごとにテーマを決めて本を詰め込むこと
・本には誰でも自由にメッセージをつけられること

まるでサーカス一座が旅をしながら街にやってくるように
自分にとつての日常に期間限定で非常勤がやってくる。
そんなイメージを持つてみんなで話し合いをはじめました。
その中で決まったのは・・・



皆さんは、本とどんな風に出会っていますか？
本屋さんや図書館など本がたくさん置いてある場所に行ったり
ネットで必要な本を探したりいろいろな方法があると思います。
でも、本屋さんがなかったり、図書館が遠かったり、
普段なかなか本がある場所に行けない、行けないという人も
多くいるのではないのでしょうか。

そういった本との出会いの機会が少ない人たちにも
本を身近に感じてもらえる何かいい方法はないだろうかと考えた時、
「人が本を探しに行くのではなく、本の方が人のいる場所へ
訪れたらどうだろう？」と発想を変えてみました。



旅する本箱のストーリー

📍 本箱の旅先マップ

旅のルール



テーマごとの本箱が
各旅先にあります



本箱はしばらく
旅先に滞在します



期限を迎えると次の
旅先へと移動します



順番に県内をぐりと
巡って旅をしていきます



旅をするごとに読んだ人の
感想が増えていきます



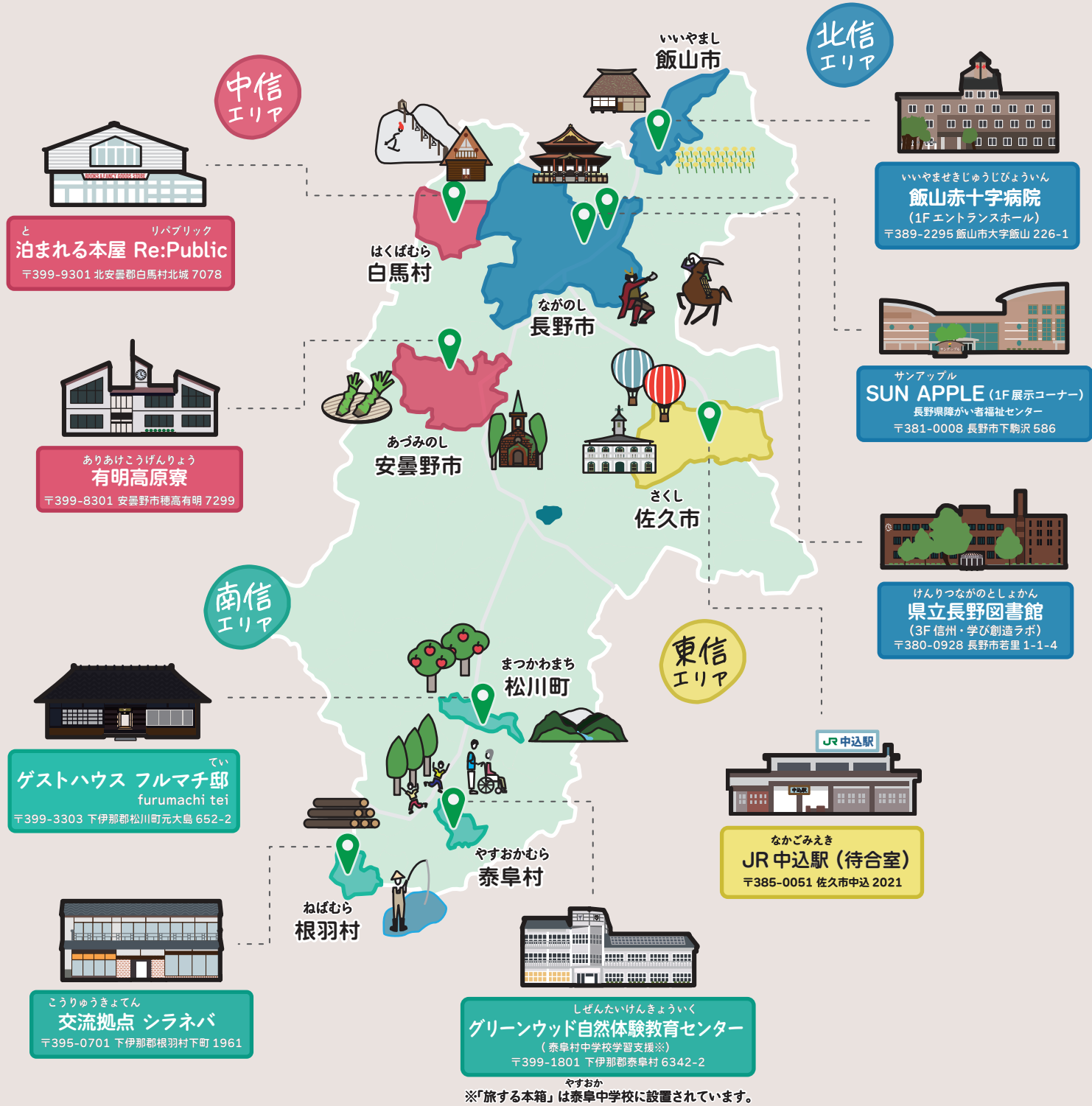
そして本をきっかけに
人と人が繋がっていきます

スケジュールは
こちらから



「旅する本箱」第2回
ウェブサイト

最新のスケジュールは
ウェブサイトか
直接旅先で聞いてみてね！



📦 本箱のテーマ



テーマ別 本のリスト

各テーマ20~30冊の
本があるよ！



● 懐かしい未来

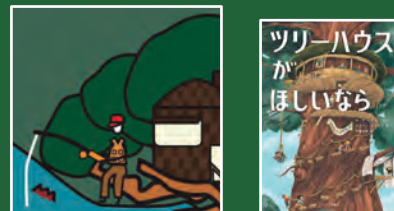


『クララとお日さま』

カズオ・イングロ / 著 土屋政雄 / 訳 早川書房
人工的に作られた友達 (AF) クララの純粋な心の美しさと、人間の身勝手さとの対比に考えさせられる作品。小学校高学年からおすすめです。いま世間を騒がせているAIとは、一体何のために、誰のために発展していくのでしょうか？これからの未来を生きていく当事者の子どもたちにこそ読んで欲しい物語です。読後感は美しくも切ないです。(おおさん)

その他『鋼鉄都市』、『銀河鉄道999』、『野生のロボット』など

● もし1週間休みがあったら



『ソリーハウスがほしいなら』

カーター・ヒギンズ / 文 エミリー・ヒューズ / 絵 千葉茂樹 / 訳 ブロンズ新社
木の上に家を作る。空想するだけで、ゾクゾクします。お気に入りのものに囲まれた、自分だけの天空の城。窓から見える景色はどんなだろう？時々、小動物や鳥が窓から遊びに来てくれたら嬉しいかも。あなたなら、どんなソリーハウスにする？ (izumimi)

その他『ぼくはいつだってどこにいてもいいんだ』、『インドへ』など

● 今日何食べよう



『世界の郷土料理事典』

青木ゆり子 / 著 誠文堂新光社
「今日は日曜だし何かここにあるものから作ってみるか」と思いページを開くとあっという間に1時間ぐらい経っていて結局何をつくるか全く決まらない。でも、全く行ったこともなければ一生行くこともないようなモーリタニアの郷土料理が今は不思議と我が家の定番料理になっています。(jun)

その他『世界の台所探検』、『ぐりとぐら』、『あげる』など

● あなたも行きたくなる

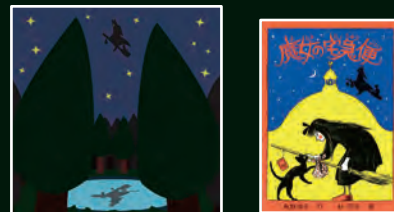


『民俗学の旅』

宮本常一 / 著 講談社
旅に出て、スマホの画面だけを眺めている君！旅に出ることは目的地に行くことではない！宮本善十郎が息子に語った十か条が所収されたこの本は、どこでもドアでは味わえない「旅」を語ってくれる。(ぶらた・森)

その他『旅の絵本』、『ナルニア国物語シリーズ』、『漂流物』など

● 森と泉の国からの贈りもの



『魔女の宅急便』

角野栄子 / 作 林明子 / 画 福音館書店
スタジオジブリの映画でおなじみ「魔女の宅急便」の原作。13歳の魔女キキは「ひとり立ち」するために相棒の黒猫ジジと、はじめての街にやってきました。そこで始めた仕事は、ぼうきで空を飛んで荷物を届ける宅急便屋さん。失敗したりして落ち込みながらも、だんだん街の人に受け入れられ、やりがいや居場所やを見つけていく物語。

その他『おひさまとえんぴつ』、『ハンチバック』、『復活の日』など

● 世界の秘密を冒険しよう



『エルマーのぼうけん』

ルース・スタイルス・ガネット / 作 わたなべしげお / 訳 ルース・クリスマン・ガネット / 絵 福音館書店
あなたなら、冒険にでかけるとき、何を持って行きますか？どうぶつ島に囚われているりゅうの子どもを助けようとして、どうぶつ島にでかけたエルマーは、輪ゴム、チューインガム、歯ブラシなどで危機を乗り切っていきます。(izumimi)

その他『地下世界をめぐる冒険 間に隠された人類史』など

● 運命を変えた一冊



『剣客商売 1』

池波正太郎 / 著 新潮文庫刊
時代物として有名な本ですが、物語内で登場する食べ物やどれもこれもおいしそう。なんでこんな単純な表現なのに匂いや盛り付けまで浮かんでくるのか、いつも不思議になります。池波正太郎自身もかなりの美食家だったそうなので、そんな視点でも読んでほしい本です。(メガネ)

その他『漫画 君たちはどう生きるか』、『はだしのゲン』など

● 自分らしく生きる



『「よく見る人」と「よく聴く人」 共生のためのコミュニケーション手法』

広瀬浩二郎 / 著 相良啓子 / 著 岩波書店
目が見えない研究者と、耳が聞こえない研究者が、生い立ちや進路選択、人生について語る本です。世界とつながること、わかりあうことについて見つめなおす一冊です。

その他『わたしのくらし世界のくらし』、『ぼくの家はかえで荘』など

● からだがよろこぶ時間



『うかたまBOOKS 野草とハーブのレシピ』

農文協 / 編 農山漁村文化協会 (農文協)
よもぎ、たんぽぽ、どくだみ、ハーブ……身近な草の活用レシピ満載の本です。眺めるだけでもよし、お散歩のお供にもよし。作ってみたことがある方、ぜひ教えてください！

その他『塩分早わかり 第5版』、『はたらく細胞 01』など